

日本語教室学習者とボランティアの親睦会で 盆踊りに参加しました

窪添 ひろみ（日本語教室部会）

日本語教室部会では、日頃教室で日本語に格闘している外国人の方にせつかく日本に来たのだから日本の文化を肌で感じてもらいたい、勉強だけじゃなく普段とは違う環境で、リラックスして学習者と日本語ボランティアが親しく交流してほしい、との思いで毎年、親睦会を開催しています。

そして今年は・・・

夏になるとどこからともなく聞こえてくるお囃子の音、やぐらのまわりで何やら楽しそうに老若男女が踊る、そう！夏の風物詩「盆踊り」です。それを目にした外国人の方は、きっと自分も浴衣を着て一緒に踊りたい！と思ってくれているのでは？、そこでダンスに国境はない！と8月23日（土）に「浴衣を着て盆踊りを踊りましょう」という親睦会を企画しました。会場はNIAのおひざもと、京成津田沼駅前広場。毎年盛大に行われる地元主催の盆踊りに参加しました。

当日はまずサンロード6階大会議室に集まり、学習者とボランティアはもちろん、同じ国の出身者同士だけでなく違う国の方々とも、

親睦を兼ねて軽食を食べながらひととき談笑しました。そのあと外国人学習者は、この日のためにわざわざ、そしてころよくお越しくくださった地元の踊りの先生に浴衣を着せてもらい、みんなで輪になって盆踊りを教えてもらいました。

大きな浴衣を自分の背丈ピッタリに着せてもらい、一本の帯が蝶々のような形になるのはまるで魔法のようで、初めて浴衣を着た外国人の顔には笑顔があふれていました。

そして7時、いよいよ駅前広場での本番です。練習の成果があって、みなさんすぐに踊り手の輪に入って踊り始めました。やぐらの上にあがらせてもらって踊る外国人もいて、みなさん楽しそうに踊っていました。

地元の方々にも、今年は国際色豊かでいつもとはちがう雰囲気、習志野市の国際性を感じていただけたのではないかと思います。これからも外国人と日本人が相互に理解を深められるような企画を行なっていきたいと思ひます。



浴衣を着て、出発前の記念撮影



習志野市A.L.Tの先生とお友達